

経営比較分析表（令和元年度決算）

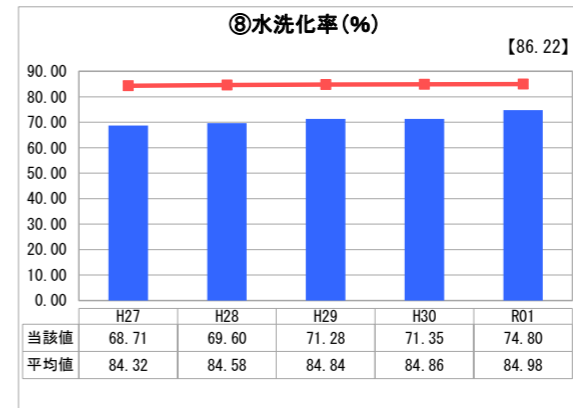
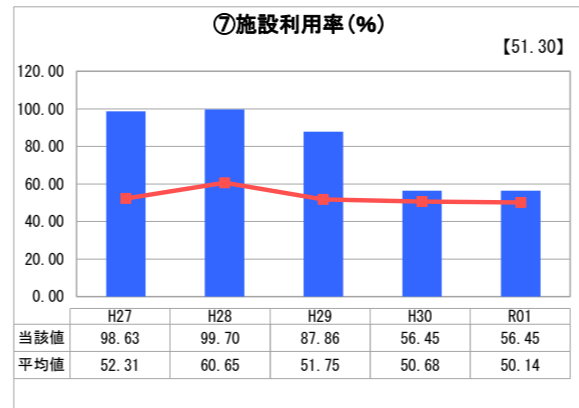
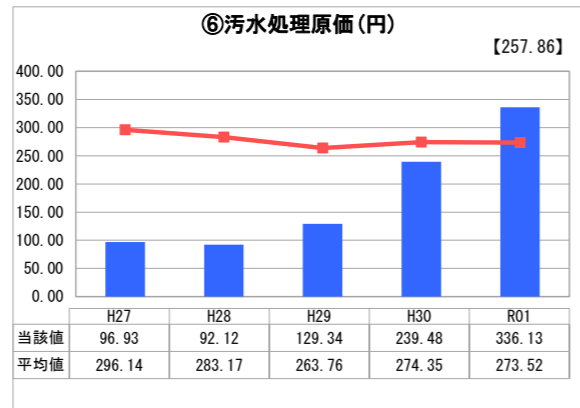
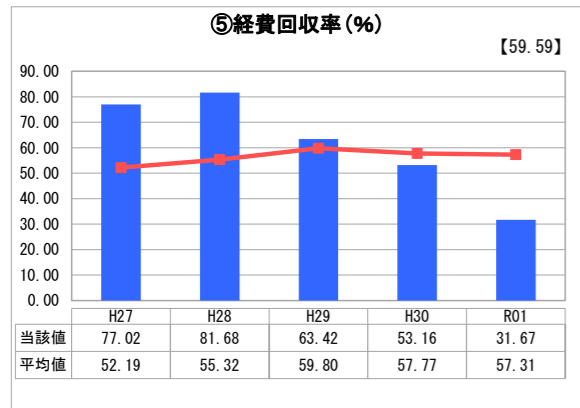
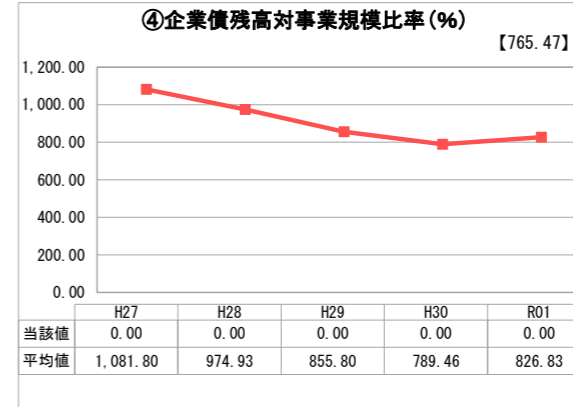
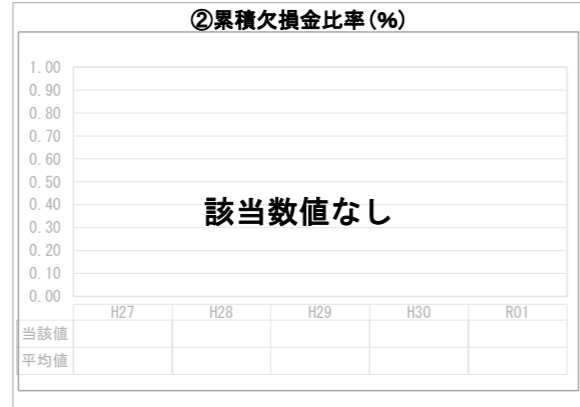
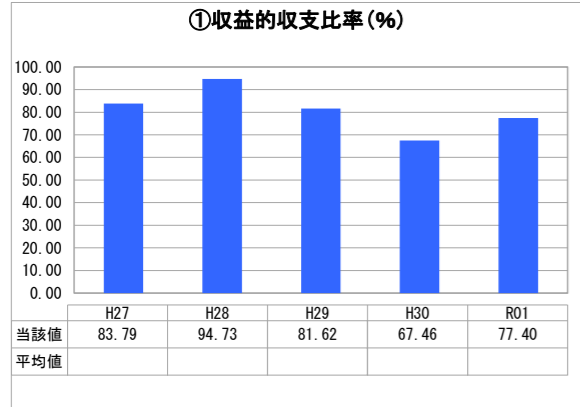
千葉県 旭市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.52	100.00	3,190

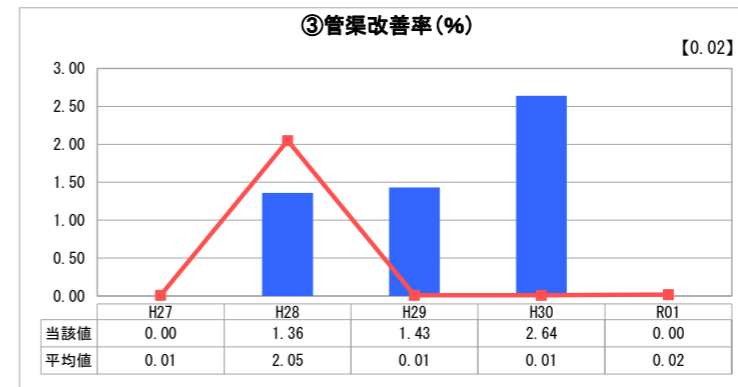
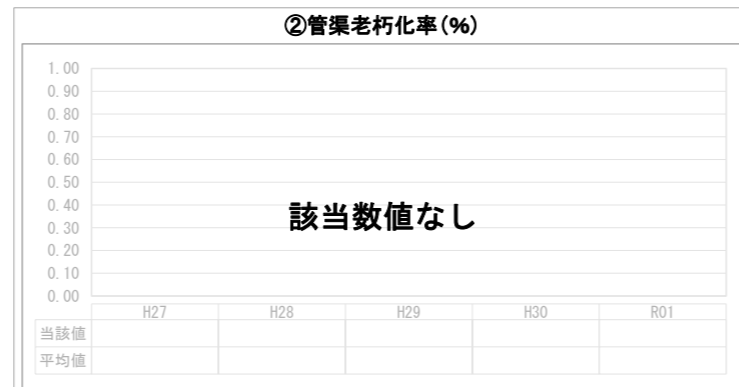
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
65,305	130.45	500.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,639	0.48	3,414.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率が減少し、汚水処理原価が増加している。その要因として、修繕費の増加に伴う汚水処理費の増加と有収水量の減少によるものと考えられる。施設利用率については、不明水の多い地区の管路改修が完了し、処理水量も減少したことで平均値と同程度に推移している。地方債については使用料収入が少なく、全て一般会計繰入金で償還しているため、企業債残高対事業規模比率が0になっている。

2. 老朽化の状況について

本市の農業集落排水事業は平成10年に供用を開始した比較的新しい事業であるため、老朽化が著しい一部の路線の改修工事以外の老朽化対策は行っておらず、既存施設の修繕等を実施しながら長寿命化を図ってきた。今後は、令和元年度に策定した機能診断と最適整備構想に基づき、中長期的な状況予測を図りながら、将来訪れる施設の老朽化に備えていく。

全体総括

修繕費の増加により汚水処理費が増加しているが、令和元年度に機能診断と最適整備構想の策定を実施しているため、今後は計画に基づき修繕を行うことで汚水処理費の増加を抑え、収益的収支比率と経費回収率の向上を目指したい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。